

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	吉林省参加型灌漑管理組織強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>中国では、人口の急増や経済・社会発展に伴い水需要が急激に増加し、これによる食料生産や環境に与える影響が危惧されている。このため、水資源利用の7割を占める農業用水の効率的利用や適正管理に向けて、全国各地で農民参加型灌漑管理について推進している。中国の中で参加型灌漑管理組織の設置が大幅に遅れていた吉林省では、JICA草の根技術協力事業（地域提案型）による住民参加型灌漑管理支援事業（H17～H19）の着手が契機となって、農民自身の用水管理組織である「農民用水戸協会」が、2組織（H17.8現在）から480組織（H19.7現在）に急増した。</p> <p>しかし、農民用水戸協会の設立増加に伴う新たな課題も発生しており、吉林省では、「（1）用水戸協会の適正規模をどうすればよいか、（2）会員の資質向上をどう図るか、（3）政策や法律等をどう整備すべきか」などの課題解決が必要としており、用水協会の運営（水利費徴収）や人材育成などが当面の課題となっている。</p>
4. 事業の目的	<p>専門家派遣によって、吉林省における参加型灌漑管理の実態の把握や分析を更に深め、研修員受け入れでは吉林省側の課題解決に必要な日本式参加型灌漑管理の研修内容にて研修を行い、「（1）モデルサイトにおける農民用水戸協会の運営に関わる人材の育成を目的とした研修制度確立、（2）農民用水戸協会に対する指導・支援が適切に行われるために灌漑区職員が人材育成される研修プログラムの作成」について支援し、吉林省農民が自主的に参加する灌漑管理モデルを普及させ、農民用水戸協会の組織強化を図るなど総合的な技術協力を行うものである。</p>
5. 対象地域	吉林省内
6. 受益者層	灌漑区及び農民用水戸協会
7. 活動及び期待される成果	<p>（活動）</p> <p>中国吉林省に宮城県に専門家を派遣し、農業水利施設管理指導、組織運営指導、セミナー開催、環境配慮対策などの現地支援を行う。</p> <p>また、中国吉林省の参加型灌漑管理組織強化を担うリーダー育成を目的に、中国吉林省から研修員を受け入れ、土地改良区役員研修制度、土地改良区運営制度、農業水利施設管理手法、参加型計画手法、ワークショップ、環境配慮工法などの研修を実施する。</p> <p>（期待される効果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>農民用水戸協会の運営などの研修制度の確立 農民用水戸協会設立後の教育体制の強化に向けて、農民用水戸協会役員など協会運営に係る人材育成のための研修プログラムが作成され、これら関係者が協会の適正な運営について理解する。</li> <li>農民用水戸協会への指導・支援の人材育成プログラムの作成 吉林省における参加型灌漑管理の普及活動を担うリーダー育成と併せて、灌漑区が農民用水戸協会を指導・支援する際の人材育成プログラムが作成される。</li> </ol>
8. 実施期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日
9. 事業の実施体制	宮城県・土地改良区・NPO等が協働して事業を実施する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	宮城県農林水産部（宮城県）
2. 対象国との関係、協力実績	<p>宮城県と中国吉林省は1987年から友好交流を続けており、これまで農業、文化、教育、医療、環境等の分野における交流・協力が行われてきた。</p> <p>中国では、参加型灌漑管理組織である農民用水戸協会の設置を進めてきたが、吉林省は、その設立が大幅に遅延していたため、農業水利に関する宮城県と吉林省との交流・協力が、2004年に締結した第9次交流計画協議書に初めて盛り込まれ、平成17年度～平成19年度の3年間に於いて実施したJICA草の根技術協力事業（地域提案型）による吉林省との住民参加型灌漑管理支援事業を契機に農民自身の用水管理組織である「農民用水戸協会」が、2組織（H17.8現在）から480組織（H19.7現在）に急増した協力実績がある。</p>